

“里親”と“支援者”がお届けする【自主上映会&トークセッション】

～何らかの事情で家庭で暮らせない子どもは、全国で約4万2千人。今、里親の力と、社会の理解、支援が求められています。～



『わたし、生きていていいのかな』『こども食堂にて』の佐野翔音監督作品

映画『育ててくれて、ありがとう。』



6/2023
17 sat

どなたでもご参加頂けます。

参加無料・託児あり

事前申込制

open 13:00 start 13:30 close 16:00



- 仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく泉中央ホール」→
(仙台市泉区泉中央1丁目8-6 仙台市泉図書館4階 TEL022-772-7340)
- 第1部 映画『育ててくれて、ありがとう。』上映 (作品62分)

第2部 里親トークセッション『里親という生き方を選んで』

出演：宮城県なごみの会の里親、仙台市ほほえみの会の里親

(ゲスト) 岩朝しのぶ (日本子ども支援協会 代表理事 / OneLove オンライン里親会 代表理事 / 映画友情出演)

第1部と第2部の間に「里親制度」についての説明を行います

主催：みやぎ里親支援センターけやき 共催：宮城県なごみの会 (里親会)、仙台市ほほえみの会 (里親会)

後援：宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

河北新報社、東北放送、仙台放送、宮城テレビ放送、東日本放送、DateFM、仙台リビング新聞社

特別協力：日本子ども支援協会 協力：宮城県社会福祉協議会、仙台市社会福祉協議会

運営協力：宮城県児童養護施設協議会里親支援委員会

(済生会乳児院、丘の家乳幼児ホーム、丘の家子どもホーム、ラ・サール・ホーム、小百合園、仙台天使園、旭が丘学園児童家庭支援センター)

里親、里子、実親の心情を描くストーリー

映画『育ててくれて、ありがとう。』

映画公式サイト



監督・脚本・プロデュース
佐野 翔音 (さの しょうおん)



児童虐待や子どもの貧困などで社会的養護を受ける子どもたちと、その親、彼らを支えようとする大人たちをテーマにした映画製作を行う監督・佐野翔音の『わたし、生きていいのかな』(2016)、『こども食堂にて』(2018)に続く、3作品目となる映画『育ててくれて、ありがとう。』今回は里親家庭に焦点を当て、ある一組の親子の姿を通して、里親、里子、実親それぞれの心情を丁寧に描いていきます。

【あらすじ】 長年の不妊治療の末、子供を授かることができず、里親制度を利用して弥生という女の子を里子に迎え入れた小川家。里親である美奈子と雄介は、弥生に自身が里子であることを伝える決心をする。弥生はその事実をどのように受け止めるのか... 生みの親・洋子の存在を知った弥生は... 弥生、美奈子、洋子、それぞれが抱える想いと...

お申し込み方法

申込×切

6/11
sun

下記の内容をご記入いただき、FAX または Eメールにてお申し込み下さい。

お名前	①	②
所属	①一般	②里親 (宮城県なごみの会 ・ 仙台市ほほえみの会)
	③その他 ()
託児希望 <small>定員に達し次第、 受付終了となります。</small>	① (男・女 歳)	② (男・女 歳)
	③ (男・女 歳)	④ (男・女 歳)
ご連絡先	(代表者)	
ご質問等	ご質問や伝達事項がありましたら、ご自由にお書き下さい。	



一般の方 / 宮城県の里親の方はこちらへ

みやぎ里親支援センターけやき

FAX 022-343-8144

keyaki@ia1.itkeeper.ne.jp

お問合せ：TEL 022-718-1031

仙台市の里親の方はこちらへ

ほほえみの会事務局

FAX 022-262-1948

hohoemi@shakyo-sendai.or.jp

お問合せ：TEL 022-223-2142

***** 皆さんからのお申し込みを、心よりお待ちしております！ *****